富久ソラからのうちゅうだより（本園）

～2月号～

～ONE　ROOF～

「大きなおうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになり、そして成長して、未来を創り出す力を育んでいこうなどという思いを込めています。

社会福祉法人東京児童協会
富久ソラのこども園ちいさなうちゅう
（本園）〒162-0067 東京都新宿区富久町 14-1
TEL　03-6380-0414
（分園）〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-3-13
TEL　03-6380-6437

令和３年２月１日発行
園長　松山　有希子

立春を迎えようとしていますが、まだまだ身体の芯まで冷気がこたえるような寒さが続いています。子どもたちも「さくら公園の木に花が咲いていたよ」「お花が冷たい風に飛ばされないかな」と、梅のつぼみが花開いたことなど身近な自然の変化にも気が付き、春の訪れを待ち遠しく感じます。

さて、先日、幼児クラスの保護者の皆様には、大きくなった会の変更点についてお知らせをさせていただきました。保護者の皆様にも同じ場でお子さまの成長をご覧いただきたかったのですが、緊急事態宣言下、また期間延長の見込みがあることから、オンライン配信という形へ変更させていただきました。ご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。子どもたちは、大きくなった会に向け、花組、星組、月組どの学年も、「こういう風にしたらいいかな」「〇〇はどうかな？」と、物語のイメージを身体で表現したり、必要なものは何かと考えたり道具を作ったりと、それぞれが自ら考え、それを友だちと共有することで、日々さまざまな展開が繰り広げられています。表現活動の様子を見守っていると「園長先生聞いて～、今日はね、、」と表現で工夫したことや、作った小道具の仕掛けなど、嬉しそうに教えてくれる子どもたちの話を聞くことが毎日の楽しみでもあります。

乳児クラスの子どもたちも手先の動きが細やかになり遊び方にも変化が見られるようになりました。言葉でのやりとりも盛んになり、生活面（着脱、食事など）の自立や自我の芽生えによる心の育ちなど、この１年の成長を大きく感じます。各クラスが年齢や発達に沿った子どもの成長へのねらいをもって、教育保育計画をたて、振り返りを行いながら日々過ごしてきました。その様子を保護者の皆様へは年度末懇談会にてお伝えさせていただきます。緊急事態宣言の期間延長を見込んで、内容については別途お知らせいたしますが、今回もオンラインで実施させていただきます。今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

～お知らせ～

●第三者評価集計結果について

令和２年９月 28 日から 10 月 12 日まで保護者の方へ、第三者評価利用者アンケートを実施させていただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。本来であれば、12 月に評価機関の方に園へ来ていただく予定でしたが、感染状況を踏まえ３月にオンラインで評価していただくことになりました。本園、分園の合算した利用者アンケートの結果を別紙にて配布させていただきます。

●Kindy リニューアルについて

来年度４月より、Kindy がリニューアルします。それに伴い、現０歳児クラス～4 歳児クラスの保護者の方にアカウントを再登録していただくことになります。２月 22 日(月)に再登録についてのお知らせを配布します。

≪　2月の予定　≫

- 2日(火)　節分の会
- 6日(土)　新入園児面談
- 13 日(土)　大きくなった会(オンライン)
- 16 日(火)　体育指導
- 18 日(木)　誕生会(全園児)
- 19 日(金)　杉アート(5 歳児)
- 20 日(土)　避難訓練(分園合同)
- 27 日(土)　年度末懇談会(オンライン)

クラスだより

あひる

寒い日が続いていますが、一人一人の体調を見ながらゆったりと過ごせるようにしています。食事の際、食具でうまくすくえないもどかしさから手づかみ食べをする姿が見られたため、指先や手先を使う経験を増やしたいと考え、クレヨン画やシール貼り、砂場遊びをたくさんしました。最初はクレヨンやシャベルの先をつまむように持っていましたが、繰り返し遊ぶことで中心をしっかりと握れるようになっています。それにより、クレヨンの筆圧が強くなり滑らかに円や線が描けるようになったり、シャベルでスムーズに砂をすくえるようになったりしており、自分でできる喜びを保育者に知らせてくれています。実際の食事でも、食具の柄をしっかり握りこぼしながらも自分で食べるようになってきました。進級に向け、楽しみながら自分でできることを増やしていきたいと思います。

＜今月のねらい＞

・一人一人に合った生活リズムで、寒い時期を健康に過ごす。

・身の回りのことに興味をもち、保育者と一緒に衣服の着脱を行う。

うさぎ

気温の低い日が続き、子どもたちも「さむいね」「ほっぺがつめたいよ」と肌で感じたことをつぶやくようになりました。“子どもは風の子”という言葉がありますが、うさぎ組も寒さに負けず鬼ごっこを楽しんでいます。「まてまてー」「タッチ！」と自然に自分の思いを言葉に表しながら、走って身体を動かす心地よさも味わっています。近くの公園に行く時は、バギーから降りて友だちと手を繋いで歩くようにしており、その際には必ず歩き方の約束事を伝えています。また、発語も増えてきており、大切な時期だからこそ様々な話や言葉に触れられるようにしています。今月は、歌やリトミック、簡単なルールのある遊びなどをたくさん行い、話す、聞くという言葉の興味にもつなげられるようかかわっていきたいと思います。

＜今月のねらい＞

・身のまわりのことを最後まで自分で取り組もうとする。

・生活に必要な言葉に気付き、自分の気持ちを自分なりの言葉で伝える。

ひよこ

遊びや生活の中で友だち同士での言葉のやりとりが増えてきました。「いっしょに〇〇であそぼう」「いれて」などと少しずつ自分の気持ちを伝えようとする姿も見られ、遊びの発展へとつながっています。しかし、相手との思いのすれ違いからトラブルになる時もあります。その際は、保育者が個々の子どもの気持ちを受け止め、互いの気持ちを代弁しながら話をしています。また、玩具の貸し借りの際にも「かして」など言葉を添えて思いを伝えられるように知らせています。「〇〇ちゃんの！」「〇〇くんの！」と玩具を渡したくない気持ちが強くなることもありますが、思いを汲み取りながら順番に遊べるよう介入すると「まだつかってるからまっててね」などの声が聞こえてきます。友だちに自分の思いを言葉で表現することや相手に伝わる喜びを味わいながらやりとりを大切にしています。集団生活のなかでの積み重ねから子どもたちに様々な言葉を知らせていき、友だちとのかかわりを深められるようにしていきたいと思います。

＜今月のねらい＞

・身の回りのできることに自信を持ち、意欲的に取り組めるようにする。

・自分の気持ちや考えを安心して言葉で表現する。

はな

先月は、手回しごまや福笑いなどの正月遊びを楽しみました。「こままわしをしよう」「このいろのこまにしよう」とやりとりしながら友だちとこままわしに取り組んだり、福笑いでできた顔を友だちと互いに見て笑い合ったりなど正月遊びを通して友だちとかかわる喜びを感じていました。

食事では、苦手な食材があると量を調節したいことを伝えたり、食具を３点持ちで持って食べようとしたりなど食事に必要なことが分かって自ら行おうとするようになりました。また、自分の布団をコットに付ける、週末には自分で布団をコットから外して畳むなど、自分でできることが増えてきています。

大きくなった会に向けて、物語のなかの登場する生き物をみんなで考えたり、役を決めたり動作を考えたりと友だちと楽しみながら取り組んでいます。今後も、遊びや生活の中で、自分たちで考えて行動する経験を重ねていけるようにしていきたいと思います。

〈今月のねらい〉

・季節の行事に興味や親しみを持って参加する。
・大きくなった会に参加し、自分なりに表現することを楽しむ。

ほし

友だちと正月遊びを楽しみ、自らカルタや大型すごろくを作りました。友だち同士で「さ、のつくものはなんだろう？」「さかななならかけるよ！」と相談しながら、制作の役割を決め意欲的に取り組んでいます。カルタなどの遊び方に困っている友だちがいると、率先して優しく教えようとする姿が見られ、繰り返し対戦しては勝敗を楽しんでいました。

制作では紙粘土を使ったお菓子作りをしています。『こねる、丸める、伸ばす』などの手の動きが必要ななかで、特に『こねる』ことに苦戦することもありましたが、保育者がやり方を言葉で伝えたり、実践して見せたりすることでコツや力加減が分かり集中して取り組んでいました。劇遊びで使う小道具も、何の材料が必要かどんな形にするか友だちと考えながら、制作を行っています。今後も感触遊びや表現遊びなどを行い、自分なりに表現する喜びを味わえるようにしていきたいと思います。

〈今月のねらい〉

・季節の行事に興味をもち、積極的に参加する。
・表現する楽しさを味わう。
・年上児に憧れの気持ちを持ち年下児の手本になろうとする。

つき

先月は劇遊びと節分の鬼のお面づくりを行いました。お面は、二人一組のペアになり張り子で作りました。「ここが、はれていないよ」「ここをおさえておいて」などと協力しながら、新聞紙と半紙を交互に貼る作業を繰り返し、保育者が「お昼ご飯の時間だよ」と声を掛けると「えっ、もうこんなじかん」と子ども自身が驚くほど集中して取り組んでいました。

劇遊びでは一人一人にセリフカードを渡しています。セリフは覚えていますが、練習の時にはそれを見ながらゆっくり読んだり、「もうだいじょうぶ」とカードを持たずに参加したりなどそれぞれです。舞台で実際に動く練習を始めた際には、戸惑うこともありましたが、繰り返し行うなかで、一人一人の表現を認め合い、自信を持って参加し自分の役を楽しめるようにしていきたいと思います。大きくなった会では子どもたちが精一杯取り組む姿を楽しみにしていてください。

＜今月のねらい＞

・劇遊びを通して、表現する楽しさや友だちと協力して作り上げる楽しさを感じる。
・一年間を振り返り、卒園式や進学に対して期待感を持つ。

保健だより

今年の立春は２月３日です。まだまだ寒いですが、暦の上では２月３日から春になります。

子どもたちの元気な笑顔はきちんとした体調管理ができてこそ生まれるものです。免疫力アップのためにも生活リズムを整え、感染症対策に努めていきましょう。

２月の目標
寒さに負けず元気に過ごす

《寒さに負けない身体をつくりましょう》

- 外でたくさん身体を動かしましょう。
- 朝ご飯を食べて身体を温め、眠っていた脳や身体にスイッチをいれましょう。
- 手洗い・うがいをこまめにし、人込みを避け、ウィルスを持ち込まないようにしましょう。
- 22 時頃に熟睡できるようにすると免疫力が効果的に高まるため、20～21 時台に眠りにつくことがポイントです。

《2 月 20 日はアレルギーの日》

子どもは、肌バリア機能が未発達なため、乾燥するとそのバリア機能がどんどん失われ、肌アレルギーのないお子さんも、肌が荒れやすくなります。肌を保護するバリアがない状態で、乾燥肌が進むと、さまざまな皮膚トラブルが起きやすくなるため、以下のことに注意して肌を守りましょう。

＜1．スキンケアの基本は清潔と保湿＞

入浴後はタオルで優しく拭いた後、皮膚が乾燥しないうちに保湿剤を塗布しましょう。
保湿ローションのあと保湿クリームｏｒ軟膏を重ね塗りすると水分の蒸発を防ぎ保湿効果が高くなります。

＜2．衣類の素材に気を付ける＞

「ちくちく」「がさがさ」「もこもこ」した素材は直接肌に触れると肌を刺激します。静電気が起こりにくい木綿素材は肌への刺激も少ないです。

《しもやけやあかぎれに注意》

手指消毒や手を洗う回数が多くて手が荒れていませんか？

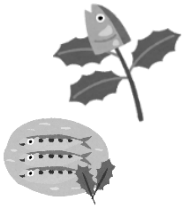
- 手洗い後はしっかりと水分を拭き取り、ハンドクリーム等で保湿しましょう。
- 毎日お風呂でよく温まり、ビタミンＥを含む食品をしっかり摂って、血行をよくしましょう。
- にら、かぼちゃ、ほうれんそう、卵、大豆製品等がおすすめです。

栄養士から

～節分について～

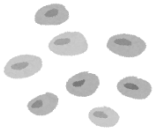
節分とは「季節を分ける」という意味があり、四季それぞれにあります。しかし、２月３日の春の節分は一年の区切りとされ、特に大切にされてきました。現在、一般的には冬から春の変わり目の「立春」の前日を「節分」と呼び、新しい季節(歳)を迎えるために豆まきや節分飾りで鬼や邪気を払う習慣とされています。今年は地球の公転周期によって、124 年ぶりに２月２日が節分となります。

【それぞれの由来】



やいかがし
魔除けのために飾る
鰯の焼いたときの匂いと柊のトゲで鬼(邪)を払うとされている。

恵方巻
節分の日の夜に、その年の恵方を向いて、願いを込めながら一言も話さずに食べると願いが叶うとも言われている。



節分豆
自分の歳の数だけ食べると、身体が丈夫になり病気になりにくいと言われている。

園でも大豆や鰯を食べて、身体の中から鬼(邪気)を払います。ご家庭でも豆まきや恵方巻などで鬼を払い、新しい１年のために福を招きましょう♪

※豆まきの際中に、豆を鼻や耳に入れてしまうことがあるので、注意して行ってください。

～豆類について～

穀類に次いで、人類が古くから食用栽培したともいわれているのが豆類です。わたしたち日本人にとってもなじみ深い食材です。日持ちする乾物としても利用されてきました。豆類は、炭水化物、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維などの栄養素をバランスよく含んでいるため毎日の健康づくりに役立つ優れた食品です。園でも様々な豆を使用しています。ぜひご家庭でもお試しください♪

【園で使用する豆の紹介】

きんときまめ
ビタミン類や鉄、カルシウム、食物繊維を多く含みます。豆に甘さがあるため、甘煮や甘納豆に使用します。

あずき
豆の中でもビタミン類や鉄を多く含んでいます。お赤飯やおはぎなどお祝いの際に使用します。

くろまめ
大豆の仲間で、鉄や食物繊維を多く含みます。お正月に食べることが多いですが、甘納豆やお茶にも使用します。

だいず
「畑の肉」とも言われるほど、たんぱく質を多く含みます。サラダや煮物、調味料にも使用します。

～感謝して食べよう～

食事には、食べ物を育てたり収穫したりする農家や漁師、畜産家などの生産者、食べ物や食事を運ぶ運送業者、食べ物を売る小売店の人、それらを調理する人など、たくさんの人が関わっており、たくさんの人たちのおかげで、わたしたちは毎日、おいしい食事を摂ることができます。また、今月はテーマ野菜の大根を使用した「大根丸ごとランチ」があり、大根の皮や葉も余すことなく料理に使っています。毎日の食事がいただけることに感謝の気持ちをもって、残さず食べましょう。